



「川崎市総合計画」改定素案

「川崎市行財政改革 第4期プログラム」素案

市民説明会

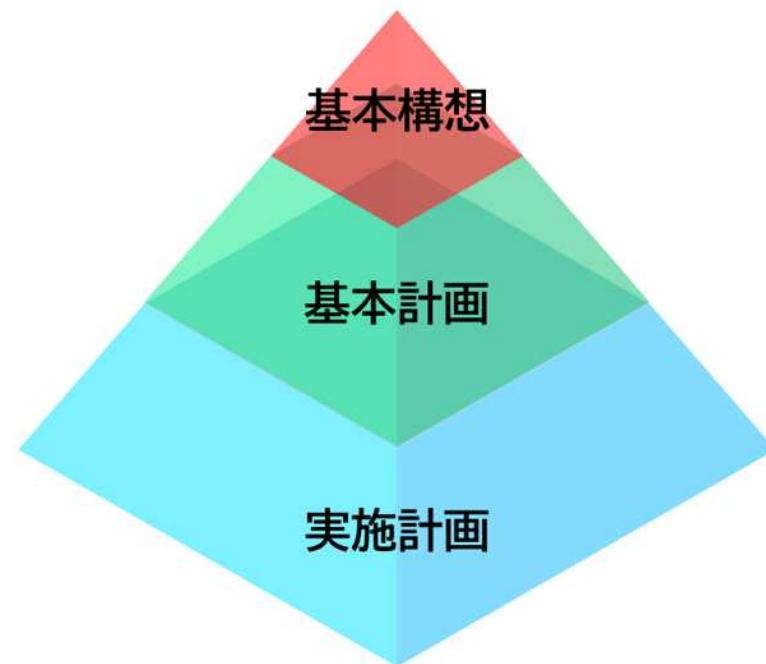
令和7(2025)年12月20日(土)

川崎市長 福田 紀彦

「川崎市総合計画」 改定素案について

総合計画改定の趣旨

- ・総合計画とは、本市がめざす将来の姿を示し、その実現に向けた取組を体系的にとりまとめた、行政運営の基本となる計画
- ・総合計画の構成



【基本構想】
めざす都市像など

【基本計画】
政策の方向性

【実施計画】
具体的な取組

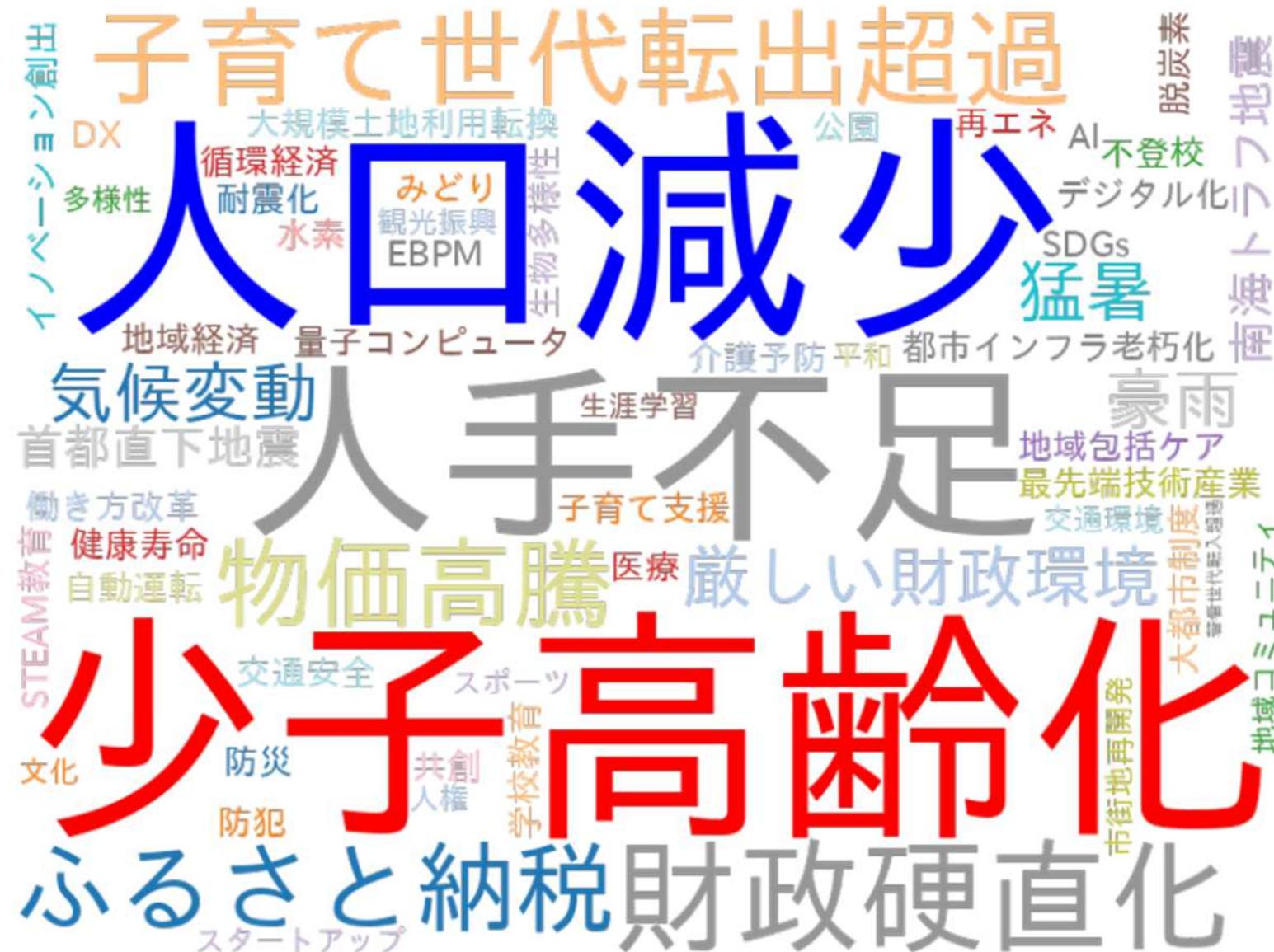
策定から
10年経過

(第3期実施計画)
計画期間の
最終年次

持続的な発展に向け、本市を取り巻く環境の変化等を踏まえ、総合計画を改定

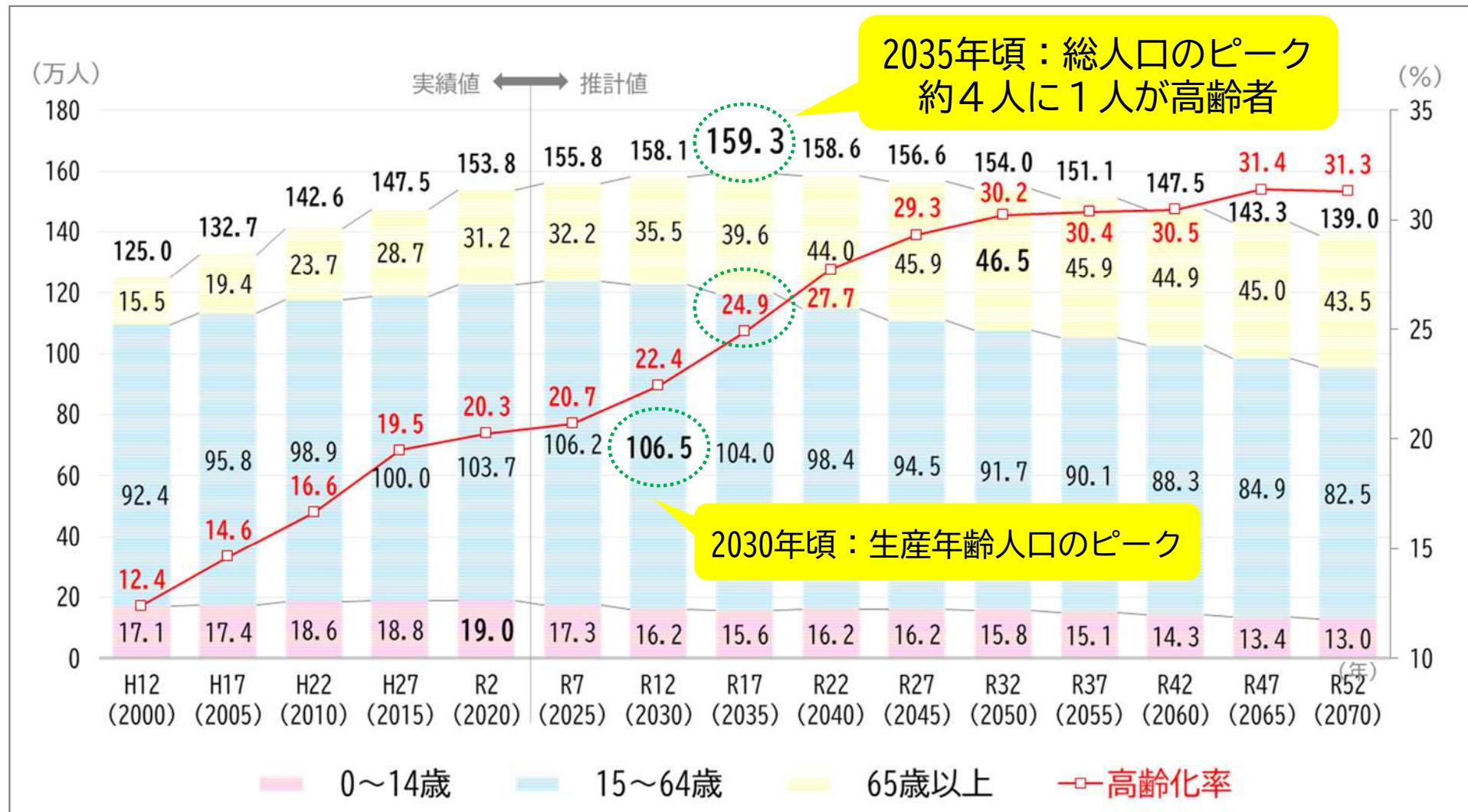
改定の背景／本市を取り巻く環境変化と主な課題等

- 行政分野は多岐にわたり、取り組むべき課題は複雑・多様化している



改定の背景／人口動態

- 近い将来、急速な高齢化の進行と人口減少への転換が見込まれる

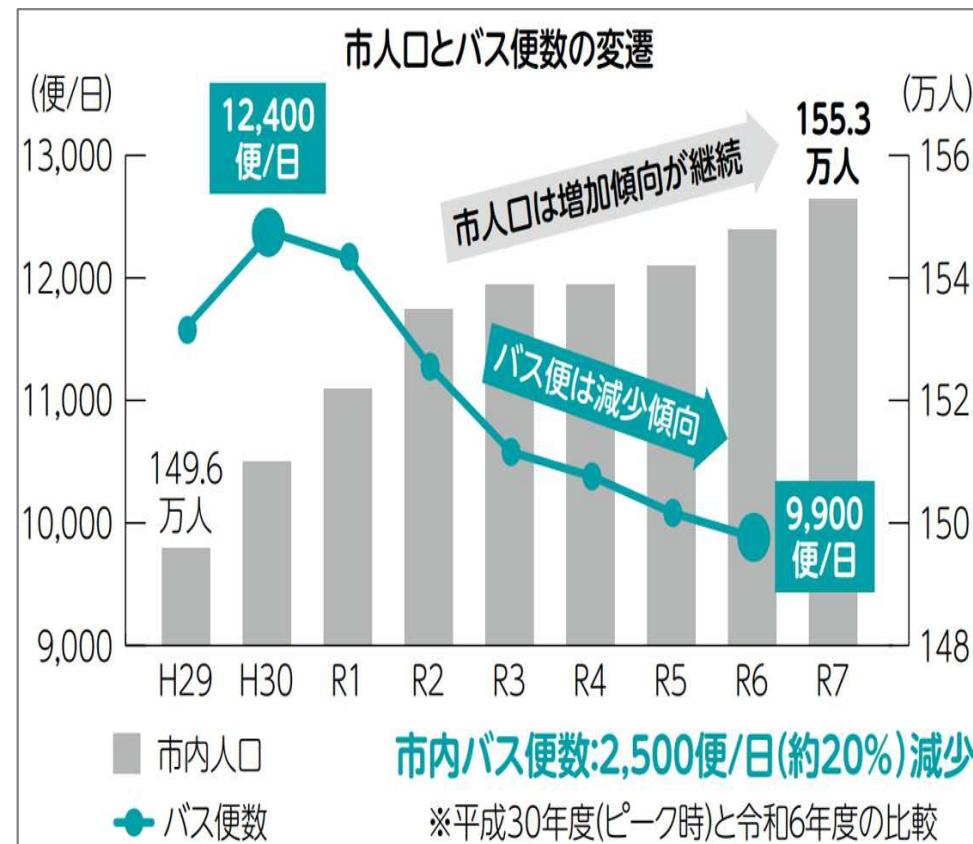


資料：川崎市「総合計画改定に向けた将来人口推計(令和7(2025)年5月)」

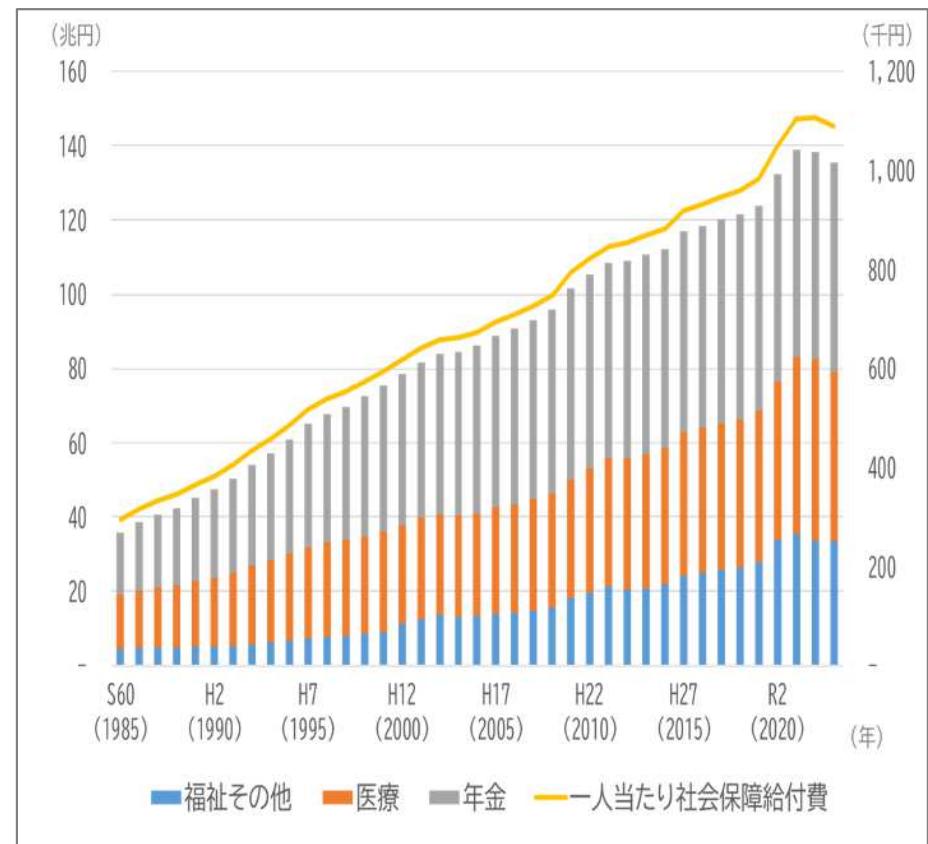
改定の背景／少子高齢化・人口減少の進行

- 全国的に**労働力不足が深刻化**
(本市でも**路線バスの減便**など課題が顕在化)
- 社会保障費が増大し、**新しいことに使える予算が減少**(財政の硬直化)

川崎市内のバス便数の推移



社会保障給付費の推移(国)

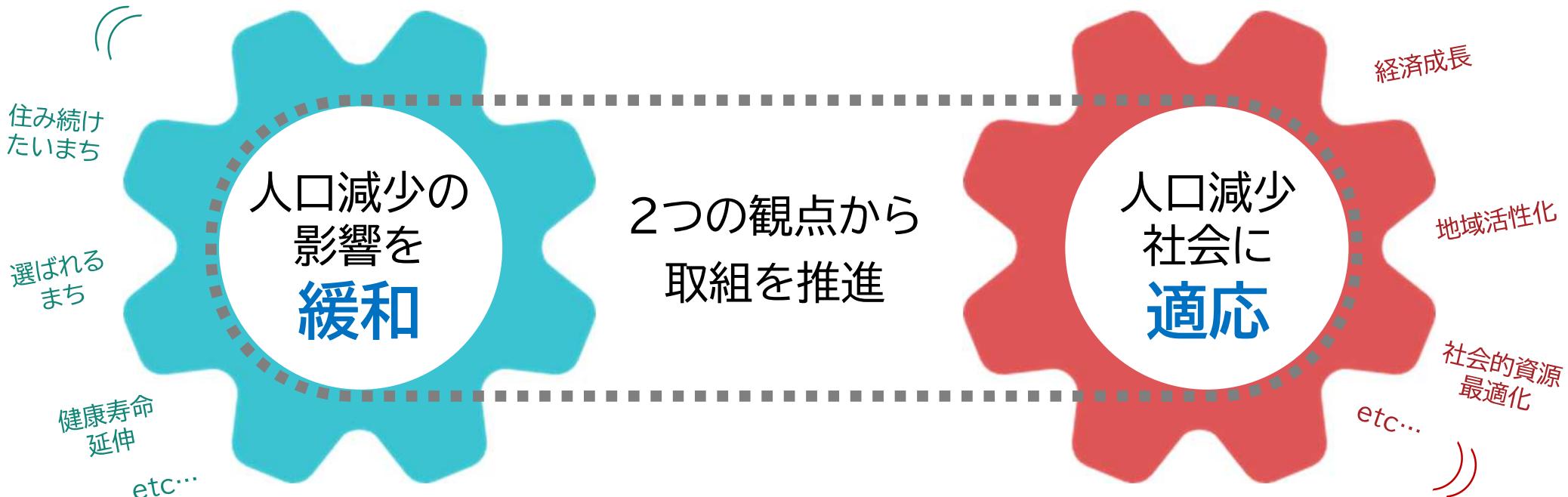


重点的に取り組む課題

- ・労働力不足や財政の硬直化により、**市民生活に不可欠なサービスの縮小**や、**質が低下**するおそれ
- ・防災、福祉、教育、インフラ整備など**あらゆる政策課題に影響**



**少子高齢化・人口減少は
都市経営の根幹に関わる重要な課題**



少子高齢化・人口減少対策の主な取組



子ども・教育

- ・小学生の朝の居場所づくり
- ・全天候型の子どもの遊び場づくり
- ・学校**体育館**等への空調導入



健康・福祉

- ・地域包括ケアシステムの進化
- ・要介護度の改善・維持をめざす健康福寿プロジェクトの推進



地域の魅力・価値

- ・等々力緑地の再編整備
- ・特色ある公園づくり



社会基盤・生活基盤

- ・災害用マンホールトイレの整備
- ・防犯カメラの設置拡充
- ・自動運転バスの導入・展開



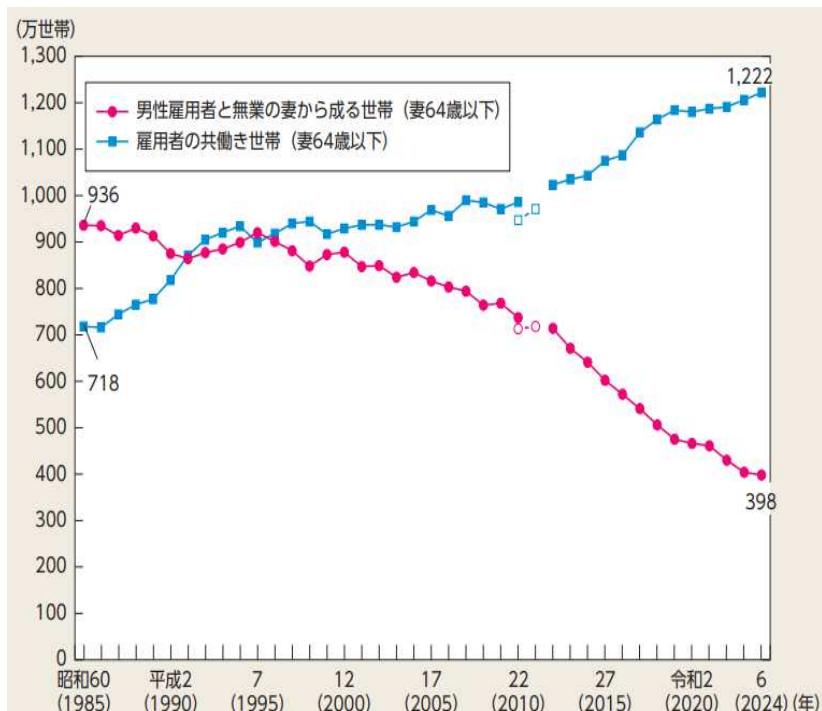
経済成長・社会課題解決

- ・再生可能エネルギーの普及促進
- ・臨海部の大規模土地利用転換

- ・新たな大都市制度の創設
川崎市がめざす「**特別市**」の実現

【子ども・教育】小学生の朝の居場所づくり

共働き世帯数と専業主婦世帯数の推移（国）



資料：内閣府

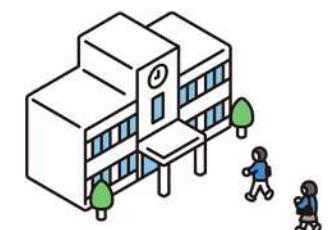
共働き世帯数は
専業主婦世帯数の**3倍**以上に増加

- 学校の開門時間が遅くて
仕事に間に合わない…
- 始業前に**子どもが安全・
安心に過ごせる場所**が
欲しい



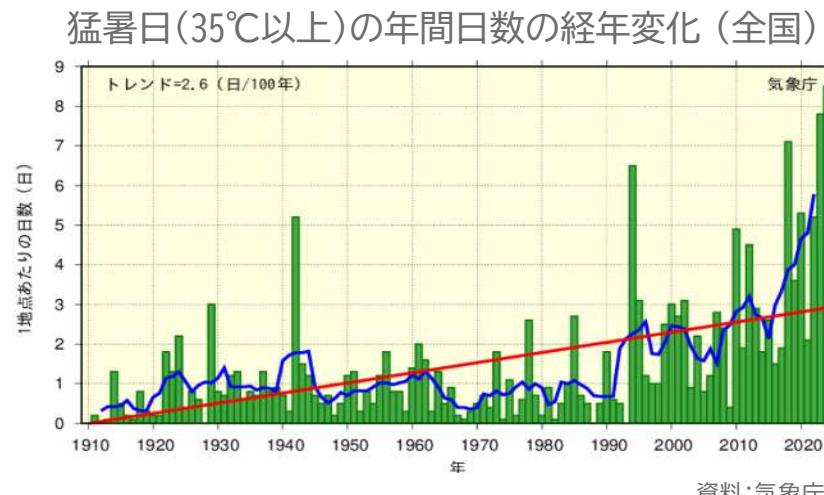
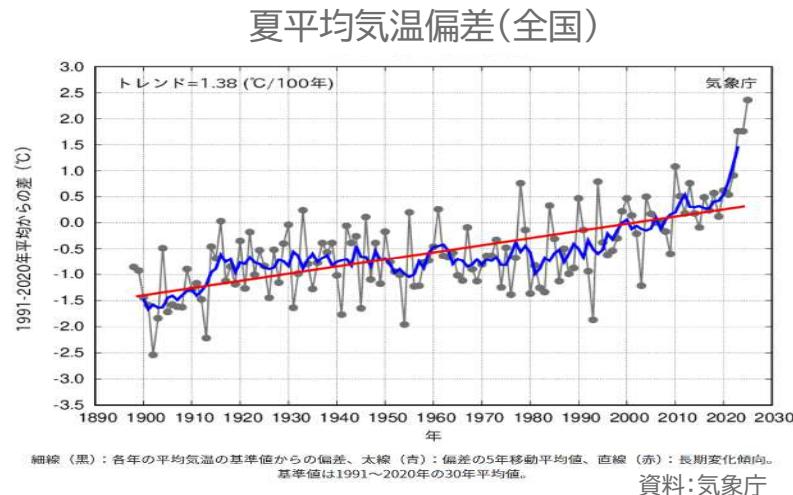
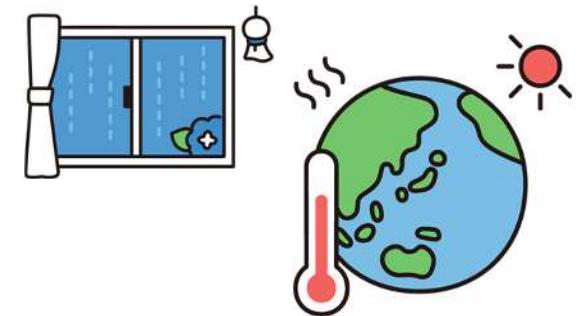
共働き世帯のニーズ

全ての小学校に
始業前から児童を受け入れる**「朝の居場所」**を設置
(令和8(2026)年度から順次拡大)



【子ども・教育】全天候型の子どもの遊び場づくり

- 毎年100日程度は雨が降る (1991年～2020年の平均値(東京)102.6日)
- 今夏も平均気温が過去最高を記録
- 猛暑日が増加し熱中症が日常的なリスクに



雨の日も暑い日も木のぬくもり溢れる空間で
子どもが思いっきり体を動かして
夢中になれる遊び場を整備
(令和8(2026)年度から整備に向け取組推進)



【子ども・教育】学校体育館等への空調導入

- 猛暑は学校教育にも深刻な影響
 - 屋外での活動制限 ⇒ 体育の授業や部活動の中止
 - 体育館や武道場も暑さ対策が課題
- 体育館は災害時の指定避難所
 - 災害弱者の避難所での二次被害(健康被害)が懸念
 - 大規模地震の切迫、豪雨の頻発化



全市立学校体育館等への
空調導入を
スピード感をもって推進
(令和11(2029)年度 全校設置予定)

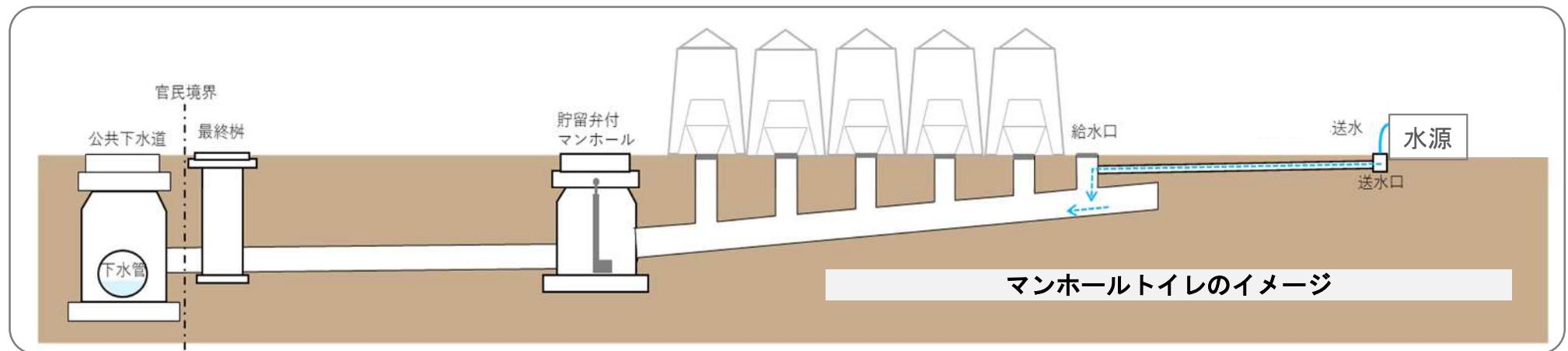
【社会基盤・生活基盤】災害用マンホールトイレの整備

- 従来の仮設トイレは**搬入・設置**や**衛生管理**等に課題
- 川崎市では、避難所と水処理センターを結ぶ**下水管の耐震化**が進む

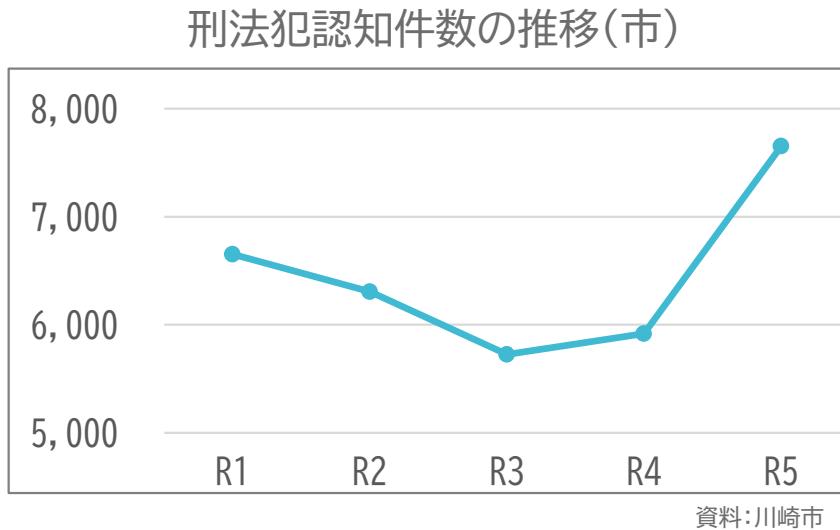
災害の影響を受けにくく、持続的・衛生的に使える

マンホールトイレを
全ての指定避難所に整備

既に24か所整備済。R11年度までに124箇所以上、
R13年度までに全箇所整備予定



【社会基盤・生活基盤】防犯カメラの設置拡充



- 全国的に**刑法犯認知件数**は**増加傾向**
- 市民アンケート**の「今後特に力を入れてほしいこと」で**「防犯対策」**は**毎年1位**
- 川崎駅周辺に**防犯カメラ100台**を設置して運用中

川崎を**最も安全な都市**に！

- 川崎駅以外にも**重点地区**を定め**防犯カメラの整備**を推進(令和8年度以降順次)
- 町内会等**の団体が地域に防犯カメラを設置する場合に**補助金**を交付

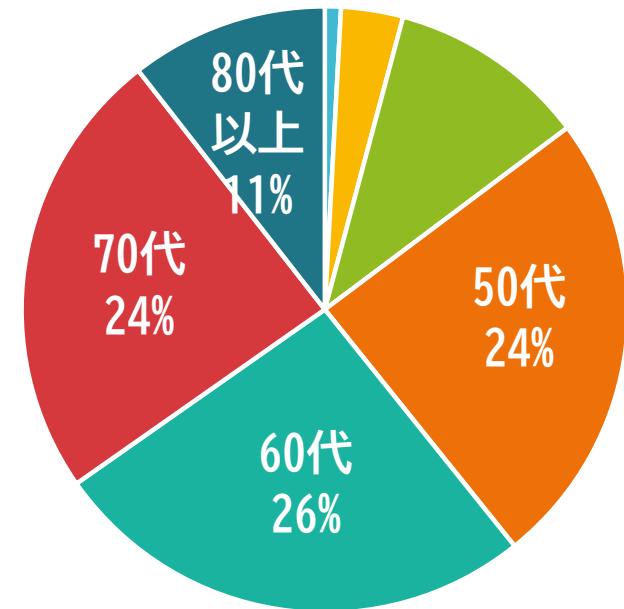


【社会基盤・生活基盤】自動運転バスの導入・展開

- 市内バス便数は平成30年度(ピーク時)と比べ
約20%減少
- 大型2種免許保有者の**85%が50代以上**



大型2種免許保有者の年齢(国)



資料:警察庁「運転免許統計(令和6年版)」から作成

- 令和6年度から「羽田連絡線」と「川崎病院線」でレベル4実装に向けた実証実験を開始
- 令和9年度**から川崎区で**本格運行**開始予定
- さらに**川崎区以外のエリア展開**に向けて取組を推進

【健康・福祉】地域包括ケアシステムの進化

【基本理念】 川崎らしい都市型の地域包括ケアシステムの構築による誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることができる地域の実現

【視点①】
地域における「ケア」
への理解の共有と
セルフケア意識の醸成

【視点②】
安心して暮らせる
「住まいと住まい方」
の実現

【視点③】
多様な主体の活躍
による、よりよいケア
の実現

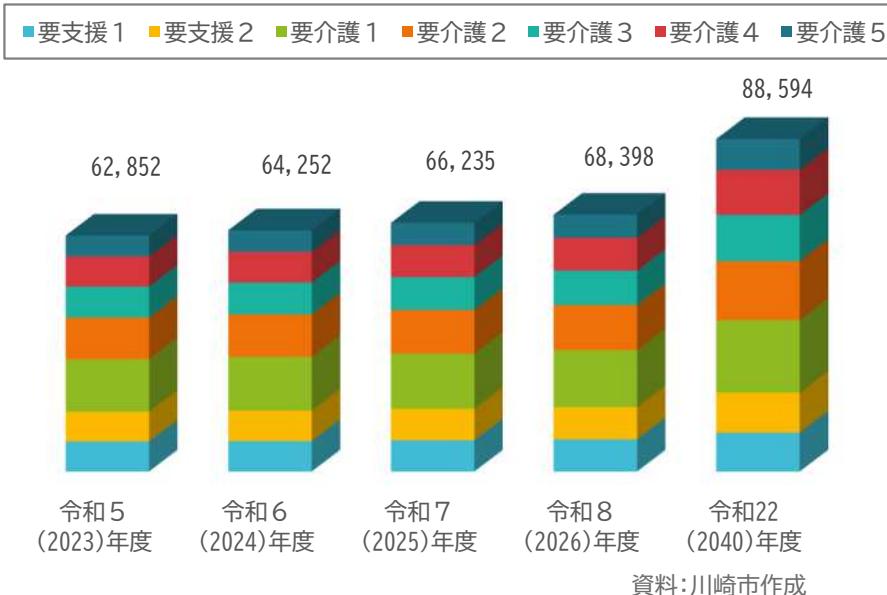
【視点④】
多職種が連携した**一体的な**
ケアの提供による、自立した
生活と尊厳の保持の実現

【視点⑤】
地域全体における**目標の共有**
と地域包括ケアをマネジメント
するための仕組みの構築

ケア付き地域の実現に向けた地域包括ケアシステムを**進化**

【健康・福祉】かわさき健幸福寿プロジェクトの推進

要介護・要支援認定者数の推移



かわさき健幸福寿プロジェクト

- 要介護度の維持・改善にインセンティブを付与する川崎市独自のしくみ
- 4年間で参加者数の倍増に挑戦(R6:711人→R11:1,400人)

- 川崎市はまもなく**超高齢社会**
(高齢者の割合が21%超)
- 2040年度までに**要介護・要支援**認定者数は**3割以上増加**の見込み

私は、参加したことでもう
要介護2
に改善しました!!

Colors, Future!
いきいきって、未来。
川崎市

▶ **要支援1**
に改善しました!!

要介護度の変化(軽くなった割合)
川崎市プロジェクト参加者 全国平均
16.1% > 8.0%
第8期(R5.7-R6.6) (R5.4-R6.3)

大きな成果が出ています!!
本プロジェクトへの参加をお待ちしています。

健幸寿

川崎市健康福祉局高齢者事業推進課 ☎ 044-200-2454

【地域の魅力・価値】等々力緑地の再編整備

- 等々力緑地は、緑と水のうるおいの空間、多数の運動施設や市民の憩いの場など多面的な機能を有し、市民に親しまれる総合公園
- 一方、**施設の老朽化**やJリーグ開催日以外の**賑わい等の課題**が顕在化



日常的に賑わう空間 そして
市民が誇りを持てる場所に！

再編整備のスケジュール(予定)

- (新)陸上競技場**の完成 (R8年度)
- (新)とどろきアリーナ**の完成 (R10年度)
- みんなのはらっぱ**の完成 (R10年度)
- 球技専用スタジアム**の完成 (R11年度)

【地域の魅力・価値】特色ある公園づくり

- これまでの**公園**は憩いの場である一方、閉鎖的なイメージも…
 - どの公園にも**同じような遊具や樹木**
 - ボール遊びなど**利用ルールの制約**が多い



地域の人たちがもっと自由に活用できるよう

公園ごとに役割や魅力が異なる

地域ニーズに応じた特色ある公園づくり

を推進(令和8(2026)年度～各区でモデル事業開始)



イメージ



イメージ



イメージ

【経済成長・社会課題解決】再生可能エネルギーの普及促進

政令市の温室効果ガス排出量(万t-CO₂)

1位	川崎市	2,139
2位	横浜市	1,821
3位	大阪市	1,736
4位	北九州市	1,708
5位	千葉市	1,575

資料:川崎市作成(川崎市は令和元年度、他都市は令和2年度調査時点)

- 川崎市は政令市で**最多の温室効果ガス**を排出
- **2030年度**までに温室効果ガス排出量**50%削減**(2013年度比)が目標
- **気候変動**の影響が深刻化する中、**脱炭素化**を加速する必要

- 令和5年度に地域エネルギー会社
「川崎未来エナジー」を設立
- **ごみの焼却**時に生まれる電力や
学校や家庭で生じた
太陽光発電の余剰電力の
地産地消等により**再エネ普及**を促進



【経済成長・社会課題解決】臨海部の大規模土地利用転換

・川崎臨海部

- 京浜工業地帯の中心に位置し、地域と日本の経済を牽引
- JFEの高炉休止で**約400ha(みなとみらいの2倍)**の広大な土地が出現

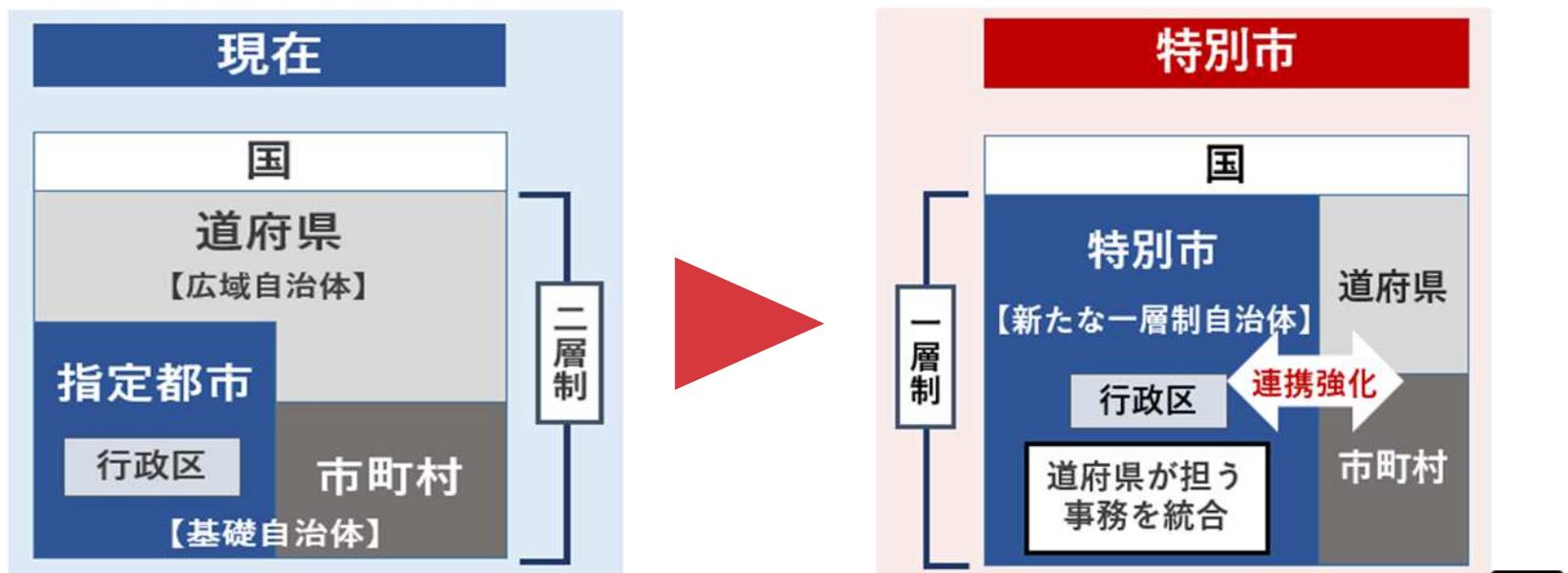
- **カーボンニュートラルの実現**と同時に、次代の柱となる**新たな産業の創出**を図る
- **地域の持続的発展、我が国の課題解決**に資する大規模土地利用転換を推進



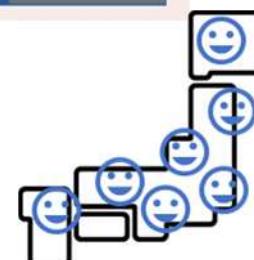
【新たな大都市制度の創設】川崎市がめざす「特別市」の実現

- ・人口減少、一極集中、経済停滞など我が国が抱える危機
- ・県と市の二層制による迅速・効率的な行政運営への支障

135年以上も続く硬直的な二層制の地方自治制度を見直す、
新たな大都市制度「特別市」の実現をめざします。



圏域の発展を促し、我が国全体が成長・発展していく、持続可能な多極分散型の社会の実現へ

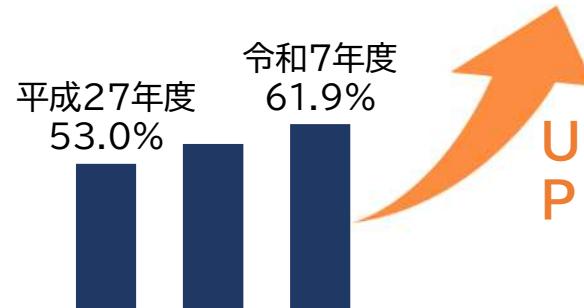


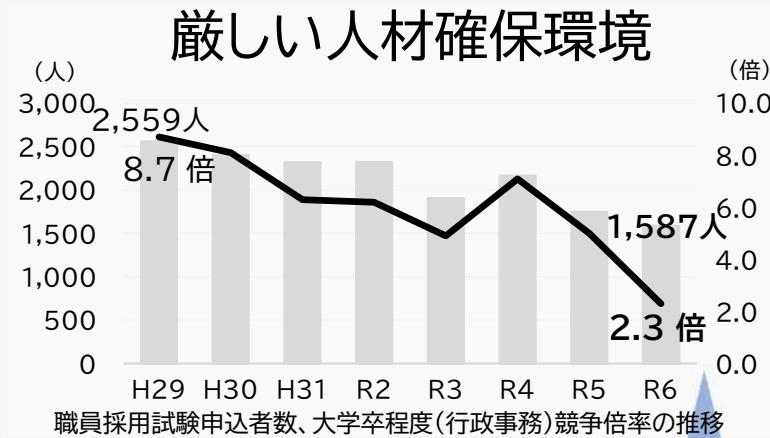
「川崎市行財政改革 第4期プログラム」素案 について

行財政改革とは

「仕事の進め方」と「予算の使い方」を見直して、
経営資源を生み出す取組

日々の生活に身近な
行政サービスについての満足度



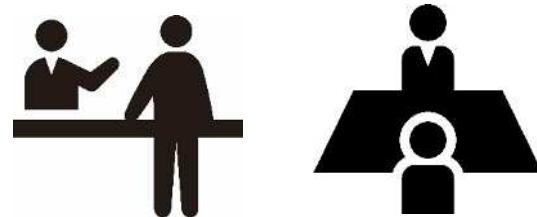


人材の流動化 就労意識の変化

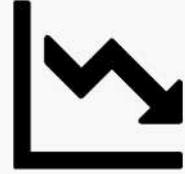


人材の確保・育成による市役所のパワーアップ

質の高い行政サービスの提供



人手不足



デジタル技術の進歩



データとデジタル技術の活用による最適化

「行かなくてよい」
「書かない」窓口



オンライン申請率の向上

子ども・子育てDX

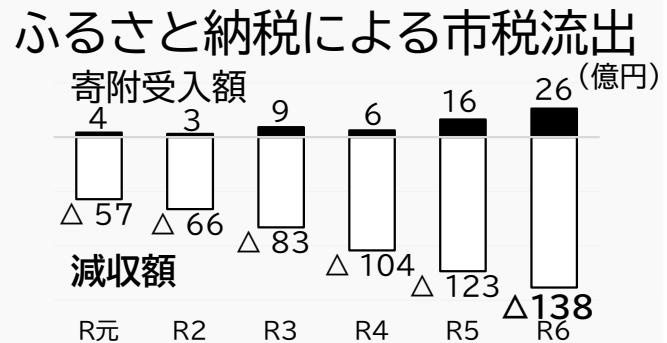


保活情報
連携基盤

使用料等の
キャッシュレス納付



eL-QRの活用



物価高騰
人件費の上昇



人口減少

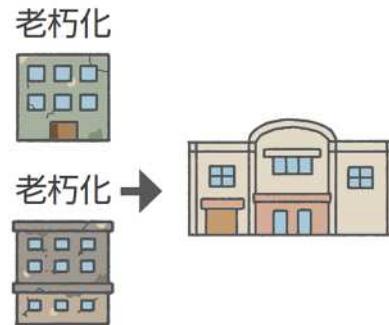


財源確保・支出の適正化

ふるさと納税制度の
戦略的な活用



施設の適正配置



民間活力の導入

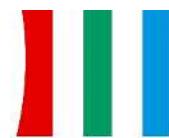


Park-PFI
(橋公園)

民間提案制度
(Free pad
Dispenser
OiTr)



ご清聴ありがとうございました。



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市